

LINE友だち募集中



全厚労ニュース

全厚連 労働組合連合会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日
https://www.zenkouro.org/

第73回
定期大会
静岡開催

「動いて、動いて、動いて」と ともに「見て、見て、見て」へ

25秋闘キャラバンを含む 活動方針案を満場一致採択



岩本一宏中央執行委員長の音頭で、みんなで「動いて動いて動いて」ガンパロウ!



岩本一宏委員長

全厚労は9月19〜20日、静岡県静岡市のグランシップ・コンベンションアーツセンター会議室において、第73回定期大会を開催しました。役員・代議員など19県141名が参加し、結成70周年を迎えた組織にふさわしく積極的な討論と交流で、団結を高めました。

増員署名、統一行動、 春闘アンケートの 3点セットを

主催者あいさつに立った岩本一宏中央執行委員長は、「全厚労はできることは何でもやろうと、『動いて、動いて、動いて』をモットーに、幾度となく国会議員要請や懇談を行ってきた。7月の参院選後に行

った要請では、特に看護協会出身の石田昌弘議員と情報交換し、診療報酬引き上げに頑張るが、労組も頑張るって欲しいと言われている」、「25春闘では政府目標の2%アップには達しておらず、委員長として責任を感じている。全厚労は何をやっているのか?と思う人も

「動いて、動いて、 動いて」具体的な 実践で情勢動かす

岡野学書記次長が24年度総括と情勢を提案。総括では「動いて、動いて、動いて」を実践してきた数次に渡る国会議員要請行動や、24秋の衆議院選挙、25年夏の参院選挙での公開質問の取り組み、石田議員を通じての厚労省幹部との懇談など、これまでにない運動を行ってきたこと。25春闘でもアンケートに取り組み組織を増やし、要求の切実さが明確になっ

ている。次の改定に向けては「動いて、動いて、動いて」を継続し、「見て、見て、見て」と訴え、「見える化」を図っていきたい。是非、全厚労の運動を見てもらい、「増員署名」「統一行動」「春闘アンケート」に取り組みで欲しい」と訴えました。

たこと。3年ぶりに全厚連への全厚労・各道県労組連名での統一要求書提出、ストライキ権の学習と高率批准を通してのたたかいや要求前進面などを報告。

情勢では、地域格差の問題や政府目標である2020年代で15000円に向けて不十分でありながらも最低賃金が引き上げられていること。政府の「骨太方針」では、賃上げや経営安定化、離職防止、人材確保がしっかりと図られるよう、公定価格での対応が明記されていることに確信を持って運動することの大切さを強調しました。

「生活と医療と平和 守り、仲間作り」で前進しよう

25年度方針案を大栗陽書記長が提案。全厚労の基本的運動の柱として、スローガンである①組合員の「生活」と権利を守り、



医療研と女性委員会ではパワポを使って活動報告(写真は医療研)1983年の根拠なき「医療費亡国論」が現在の医療危機を招いている

向上させること。②厚生連「医療」を守り、地域医療を充実させること。③「平和」憲法を守り、安全・安心な生活と医療を推進させること。加えて、④労働組合の組織強化・拡大へ向けた「仲間作り」の4本の柱を中心に、具体的な行動計画を提起しました。

25年度は特に地域へ打って出る行動として、3年目になる看護集会でのナースウエーブとともに各ブロック単位で「ナースウエーブ」「メディカルウエーブ」に取り組みもうということとして、「25秋闘キャラバン」として、加盟19道県の地方自治体への要請行動や宣伝等を通じて、地方からの声や運動を上げ、診療報酬の大幅引き上げや財政・制度支援を推進することを目指しています。

積極的な活動報告 討論で議案を採決

続く2日間の討論で、3つの専門部を含む17本の討論と4本の文書発言がありました。「秋闘キャラバン」構想については財政面や体制面で懸念する発言がありましたが、いまこそ運動に投資すべき局面にあることや各組織の実情を踏まえて柔軟に取り組みを進めていく旨、執行部の説明があり、積極的な運動の方向性が確認されました。

24年度決算報告・剰余金処分案の承認とともに、第1号議案(総括・運動方針)、第2号議案(予算案)が満場一致で採択されました。

なお来賓として日本医療連・米沢哲書記長にご挨拶いただきました。全日程ご参加いただきましたこと、紙面を借りて感謝申し上げます。

大会では多くの参加者から「声を挙げなければ変わらない。声を挙げてこそ変わる」という発言や決意が大会中も夕食懇親会でも語られました。

このニュースを読んでいる組合員一人ひとりの方々にも一緒に全厚労運動に参加していただくことを呼びかけたいと思います。

全厚労第73回定期大会

発言一覧

第73回定期大会では、当日発言14本、専門委員会から3本、文書発言4本の計21本の発言がありました。特に25春闘での取り組みや、全国的な医療介護施設の経営難の中で一時金確保の運動についての関心が多く発言されました。また、1号議案で提案された25キャラバン行動への質疑や発言も出され、活発な討論を経て今後の課題や運動の重要性を再確認すると共に、採決では満場一致で25年度方針を確立しました。大会での報告と発言を一部抜粋し紹介します。



山口・寺本純子代議員



三重・池滝和史代議員



秋田・進藤侑代議員



長野・高橋ただし代議員

メッセージを寄せて頂いた組織・団体

●全国組合等

- 全日本国立医療労働組合
- 全日本赤十字労働組合連合会
- 全国労災病院労働組合
- 国家公務員共済組合連合会病院労働組合
- 全日本地域医療機能推進機構病院労働組合
- 公益財団法人日本医療総合研究所

●医労連・県医労連

- 北海道医療介護福祉労働組合連合会
- 青森県医療労働組合連合会
- 秋田県医療労働組合連合会
- 宮城県医療労働組合連合会
- 山形県医療労働組合連合会
- 福島県医療労働組合連合会
- 茨城県医療労働組合連合会
- 千葉県医療労働組合連合会
- 東京地方医療労働組合連合会
- 新潟県医療労働組合連合会
- 富山県医療労働組合連合会
- 石川県医療労働組合連合会
- 群馬県医療労働組合連合会
- 埼玉県医療介護労働組合連合会
- 神奈川県医療労働組合連合会
- 長野県医療労働組合連合会
- 愛知県医療介護福祉労働組合連合会
- 京都医療労働組合連合会
- 大阪医療労働組合連合会
- 広島県医療労働組合連合会
- 福岡県医療労働組合連合会

●友誼組合・友好団体

- 全国労働組合総連合
- 鹿児島県農業協同組合連合会労働組合
- 全国農業協同組合労働組合連合会
- 全日本民主医療機関連合会
- 全国生協労働組合連合会
- 国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会
- 日本国民救援会中央本部
- 労働者教育協会
- 非核の政府を求める会常任世話人会
- 農民運動全国連合会
- 原水爆禁止日本協議会
- 全日本建設交運一般労働組合
- あかつき印刷株式会社

(順不同)

組織	発言代議員	発言内容(抜粋)
1 秋田	進藤 侑	24春闘で24年ぶりのベア獲得(6千円)。年末一時金減額提案に対し暫定支給させ交渉を継続し昨年同率の支給で妥結。25春闘2年連続でベア獲得(4千円)。
2 福島	大友 浩介	24秋闘での骨髄ドナー休暇制度の新設。青年部要求の髪型や色について前進回答勝ち取り。25春闘で「定期昇給の獲得」「ケースワーカーの手当が5千円UP」「病院・施設ともに2交代手当の増額」「助産師手当の分娩件数要件の撤廃」「DMAT出勤手当として1出勤当たり1万5千円の支給」の5項目を勝ち取る。
3 新潟(文書発言)	和田 祐輔	当初「支給なし」とした4月賞与の支給回答を引き出し。会が新たに提示した「特別賞与と制度」について、病院特性や地域事情について労使双方で考え抜いてからの支給を求め交渉を継続中。
4 富山	水戸 達也	人員不足について薬剤師4名を確保、助産師確保が課題。宿直手当の増額回答勝ち取る。他県の活動を参考に福利厚生倶楽部の導入を提案し9月より開始した。
5 長野	高橋ただし	年末一時金の暫定支給として、交渉継続した闘い。リハセンター支部で希望する臨時職員・パート職員も組合に加入できる仕組みが正式に承認。
6 茨城	宇留野正志	全厚労シンボルマークの活用について、費用を抑え広く周知されるグッズ作成の提案。1号議案のキャラバン行動について、予算措置の見直し、書記長の2か月不在の懸念、各県の希望に応じた計画の見直し提案。
7 茨城	飛田 広大	25春闘でベースアップ評価料手当の全職種への支給に向けた交渉。現行の退職金制度を守り、「退職金規程II」の改廃を求める交渉と25夏期一時金の格差支給阻止の取り組み。労働者代表選出への経営側の介入との闘い。
8 熊総(文書発言)	齊藤 美晴	従業員代表者選任について。再雇用者の賃金見直し。リハビリ科のサービス残業の改善。
9 神奈川	岡部 義秀	看護部における休暇制限の労基法違反について、全職員に通達を出させた取り組み。
10 静岡	稲葉 功	夏季一時金闘争でのストライキ権確立の取り組み。全組合員数の89%が回答し約97%の高い確率で賛同を得た。ストライキ実施や一時金仮支給の取り組みについての準備が今後の課題。
11 愛知(文書発言)	山本 喜之	25春闘の取り組み。組合員の生活とモチベーション維持のために① 2024年度末賞与の支給、② 2025年度の定期昇給の実施、③ 年間4.0ヶ月以上の一時金についての、3つの要求項目で要求しすべて妥結。
12 岐阜	藤川 誠也	25年夏季団交の取り組み。待機手当の新設に向けた前進回答。年間一時金の例年同率支給に向けて、全職員に対して「年度末賞与を確保するための協力依頼」文書を発信・周知の取り組みで前進回答。
13 三重	池滝 和史	鈴鹿サーキットホテルで「三厚労青年部組合新人学習交流会」、三重県総合文化センターで「三厚労看護学習会」を開催。診療報酬ベースアップ選及額等を用いて、4月給にてベースアップ手当として2万6千円の支給。
14 広島	近村 勝也	25春闘へ向けた賃上げ獲得の意思統一と、スト権の高率での批准。年度末一律3万円回答から、準・深夜勤手当各100円引き上げる回答があり、現状も鑑み妥結。ベア協議を継続。
15 山口	寺本 純子	春闘アンケート結果を考慮した10%ベア要求。年間一時金4.5ヶ月満額回答。看護休暇の有休を2人以上の子で「5日間」を「7日間」の有給に改正させた取り組み。
16 香川(文書発言)	佐野 貴	25春闘でベア評価料を基にした手当を8千円から1万3千円へ5千円増額。年末一時金減額提案との闘い。
17 高知	由比 智一	25春闘でベアは見送りとなったが、副業について検討課題となった。年次有給休暇取得に関するアンケートの取り組み。新人看護師入職ゼロの深刻な事態に対し、抜本的な改善を強く要求。組織化と情報発信の取り組み。
18 大分	大島 賢治	25春闘は経営状況が厳しい中での感染予防手当1千円を獲得。看護師確保に向けた、看護学校訪問の取り組みを計画。
19 医療研運営委員会	安本真理子	第41回医療研究集会の報告と第42回医療研究集会の開催案内。第42回医療研究集会は11月14～15日の2日間、静岡県・熱海市で開催。集会サブテーマは「厚生連の視点で考える医療の正義とは」。
20 看護委員会	中村 優	24年度活動報告、看護協会との懇談、厚労省交渉、第36回看護集会in横浜を開催。25年度は10月に第37回看護集会in仙台を開催予定で、駅前宣伝行動や、特別報告「実例から学ぶ 看護師の賃金労働条件向上と組合の役割」などを行う。
21 女性委員会	楠 潔代	女性が持つ「母性=子どもを産み育てるための身体的・生理的特質」を守る「母性保護」を、6～7月に母性保護月間として推進。下呂市・下呂温泉にて第45回女性集会を開催。全労連女性部「一言カード」の取り組み。母性保護月間啓発グッズ「アルコールティッシュ」作成。「川柳コンクール」の取り組みでは産別の最優秀作品賞を受賞。生理休暇の取得状況調査6年目となり、調査の取り組みが広がる。

大会役員

- 議長 塚本 泰弘(秋田)
- 副議長 竹内 宏一(長野)
- 成清 裕美(山口)
- 議事運営委員会 藤井 允大(富山)
- 藤田 周(茨城)
- 稲葉 功(静岡)
- 佐々木祐希(香川)
- 岡野 学(中執)
- 選挙管理委員会 二橋 亮介(富山)
- 土屋 太(長野)
- 鈴木 洋史(愛知)
- 万里 昌美(徳島)

大会事務局

- 土屋 暁子(静岡)
- 中村 努(静岡)
- 早野 万里(岐阜)
- 伊藤 智哉(岐阜)
- 畑中 剛喜(三重)
- 次期選挙管理委員会 三北 富山
- 関 信(茨城)
- 東海 静岡
- 西日本 徳島
- 印は委員長

- 中央執行委員長 岩本 一宏(広島)
- 中央副委員長 島 輝義(秋)
- 松田 純一(山)
- 岡村 秀人(岐)
- 花澤 直樹(長)
- 島 輝義(秋)
- 松田 純一(山)
- 岡村 秀人(岐)
- 花澤 直樹(長)
- 大栗 陽(徳)
- 書記次長 奥井 明子(秋)
- 小林 武雅(長)
- 更谷 由夏(静)
- 岡野 新
- 中央執行委員 富樫 智裕(北海道)
- 中村 悟(秋)
- 佐々木 崇(福)
- 大平 雅浩(新)
- 大江 淳一(富)
- 松本 桂(長)
- 小川 誠貴(茨)
- 齊藤 美晴(熊)
- 関谷 幸夫(神奈川)

退任された役員

- 海野 智里(静岡)
- 井上 宗学(愛)
- 藤川 誠也(岐)
- 小椋 瑞樹(三)
- 高本 奉彦(広)
- 小田 一毅(山)
- 黒澤 太郎(香)
- 島 輝義(秋)
- 堀野 翔太(高)
- 中野 綾(大)
- 奥井 明子(秋)
- 小林 武雅(長)
- 更谷 由夏(静)
- 岡野 新
- 小見山 聡史(北海道)
- 向 慎司(富)
- 西澤 由美(長)
- 川合 宏明(静)
- 佐藤 雅俊(岐)
- 沖 公平(愛)
- 海野 智里(静岡)
- 井上 宗学(愛)
- 藤川 誠也(岐)
- 小椋 瑞樹(三)
- 高本 奉彦(広)
- 小田 一毅(山)
- 黒澤 太郎(香)
- 島 輝義(秋)
- 堀野 翔太(高)
- 中野 綾(大)
- 奥井 明子(秋)
- 小林 武雅(長)
- 更谷 由夏(静)
- 岡野 新

2025年度 全厚労役員

頑張る仲間

各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第209回は新潟・岐阜にお願いしました。



新潟 高橋智章さん

新厚労で副執行委員長を務める高橋智章さんを紹介します。

高橋さんは共同生活事業所に勤務し、事業所の運営を取り仕切っています。事業所のある十日町市は、豪雪地域であり雪が降ると除雪が必要になるため自らホイールローダーを運転し、施設の除雪も行うマルチタスクを備えています。

また、マラソンを趣味とし、地域で行われている24時間耐久マラソンに毎年、積極的に参加をして身体を酷使することを喜びとしています。そんな高橋さんは、労使交渉でアクセル全開で突き進む執行部の唯一、冷静を保ちブレーキ役を務める大切な存在です。

昨年9月からの一年間、岐厚労の中央執行委員長を務めさせて頂きました藤川誠也と申します。飛騨地域の中核病院、高山市の久美愛厚生病院に所属する理学療法士です。

何も分からず不安からのスタートでしたが、役員皆様のご支援と、ご理解・ご協力を頂くことができ、前向きに日々一生懸命、活動に取り組むことができました。たくさん仲間もできて、私にとってかけがえのない経験・財産となりました。

今年度は、岐厚労の中央副執行委員長を務めます。全厚労の活動にも積極的に参加したいと思いますので、一年間、宜しくお願い致します。



岐阜 藤川誠也さん

当選者（読者の声掲載者含む）15名様に図書（クオ）カードを差し上げます
答えと本紙の感想などを添えて下記まで先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。7月号の答えは「ネットイギョ」または「ベースアップ」で、当選倍率は2・0倍（クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選）でした。

- ヨコのカギ
- 1 虎の威を借る……
 - 3 ……は嫁に食わずな
 - 6 ……アウト。……ダン
 - 7 角切りの豚肉を使った中華料理の一つ
 - 8 香辛料の「ペッパー」
 - 10 赤塚不二夫漫画の「シェー！」でおなじみのキャラクター
 - 12 何人かで書いた書画
 - 14 松本清張作「……の器」
 - 15 ……たけ。……虫
 - 16 にが笑いのことです
 - 18 「正答」の対義語は？
 - 20 ニワトリを飼育します
 - 22 ギャラリーのことです
 - 24 同じ……のむじな
 - 25 小説などの女主人公
 - 26 ミステリー。……小説

ザ・クロスワード
出題▶モロズミ勝

1	2		3	4	5
6			7		
8		9		10	11
	12		13	14	
15		16		17	
18		19	20		21
	22	23		24	
25			26		

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

■タテのカギ

- 1 草かんむりに耳は？
- 2 2人での場面や写真……蜂取らず
- 3 水は液体、空気は？
- 4 持久力。精力
- 5 グレゴリー・ペレルマンは……者
- 6 落語などの演芸場よく考えないで軽がるしく引き受けること
- 7 神仏に誓う……文
- 8 10月第3日曜は何の日
- 9 ？
- 10 太平……大西……
- 11 外から帰ってガラガラ油あげ……ずし
- 12 ……より証拠



読者の声

飲み会をしても話は物価高のことばかり。旅行先も安く抑えられる所ばかり。みんな厳しい生活をしているなーと実感します。（長野）
——だからベアが必要で。診療報酬に阻まれなかなかできませんが、それでも：経営側は材料費・光熱費の高騰は受け入れるのに、人件費も受け入れるてほしい。（KU）

エックしたいです。（愛知）
——いつでも、どこでも、見たいところを閲覧できるのがデジタルの良さです。気づいた時でいいと思うよー。（HT）
久しぶりに地元の花火大会へ行ってきました。行くまでは面倒くさかったんですが、行ったら最高でした！気分転換の大きさが分かりました。（三重）
——近くで見ると花火は別格です。外に出るのも嫌になる猛暑ですが、お祭り、海水浴など、暑い夏も楽しんで過ごしましょう。（OK）

不妊治療の末、先月妊娠が発覚。時期に迷いながらも、上司に報告すると「おめでとうー」という祝福の言葉と、すぐに業務内容を調整してもらえました。予想外の反応に涙が出るほど嬉しかったです。悪阻の症状が思ったより早く出てきたため、本当に有り難かったです。これからも、この病院で、この職場で働きたいです！（茨城）
——おめでとうございます。スタッフの大切な時期をサポートし合える職場ってステキですね。どうかお体ご自愛ください。無事のご出産を願っています。（EN）

自動車共済で家計の見直し

大手損保が来年から自動車保険料を値上げすることが報道されました。社会活動がコロナ前の状態に戻ってきたことで、自動車事故が増えていることも影響しているようです。ガソリン代も高くなり車の維持費もうなぎ上り…、医労連共済の自動車共済で家計の負担を減らませんか。医労連共済の自動車共済は団体割引があり掛金はとても安くなっています。まずは職場で声をかけあって、お持ちの自動車に掛金見積りをしてみてください。現在ご加入の民間保険があれば等級の引継ぎもできます。対人・対物など基本保障はもちろん、制度は充実しています。ぜひ自動車共済のパンフレットをお取り寄せください。



労働組合用語集

定期大会：労働組合の最高決議機関。討議する事項として、組合規約の改廃、次年度の運動方針、財産・予算・決算に関する事項、組合役員を選出、他団体への加盟・脱退等がある。

団結ガンバロー：集会や大会の最後に意思統一の表現として行なわれる。左手を腰に、右手こぶしを「団結ガンバロー」の掛け声に合わせて突き上げる。代表者が要求や集会のスローガンをスピーチしたあと、参加者と交互に「ガンバロー」を三唱する。

教宣部のつぶやき

新委員長へ
今年の定期大会が無事終りました。少し驚いたのは、これまであまり役員交代が頻繁でなかったというところ。執行委員長が変ったという話。必ずしも若返りだけではないのですが、新しいリーダーの熱意に期待しています。（MT）

中央から、地方から声を挙げていこう

秋闘キャラバンの成功・新年度方針の実践を



25年度方針では、例年の中央行動（国会議員要請、厚労省要請、諸団体懇談）に加え、厚生連病院がある自治体に秋闘キャラバンとして全厚労書記長が向かい、加盟組織と共に県庁や市町村会に厚生連医療の重要性と支援を訴える取り組みを提起しました。来春の診療報酬改定を見据え、秋闘キャラバンは「医療・介護を守る」「厚生連医療（地方の医療）」を守る政策運動を全国的に広げる取り組みとしています。

25年度方針では、例年の中央行動（国会議員要請、厚労省要請、諸団体懇談）に加え、厚生連病院がある自治体に秋闘キャラバンとして全厚労書記長が向かい、加盟組織と共に県庁や市町村会に厚生連医療の重要性と支援を訴える取り組みを提起しました。来春の診療報酬改定を見据え、秋闘キャラバンは「医療・介護を守る」「厚生連医療（地方の医療）」を守る政策運動を全国的に広げる取り組みとしています。



青年部のコーヒー財活頑張ってます

厚労省は病床数適正化事業により病床数削減、病院統合の方向へ誘導しています。しかし、先のコロナ危機で真っ先に病床を提供したのは厚生連病院でした。能登半島地震で厚生連病院がDMA Tで貢献した実績など、地域医療の防波堤として必要な医療機関です。今回行うキャラバンでは、一度こうした実績も訴えてきたいと考えています。

総括答弁では、各組織の粘り強い交渉と成果を称えつつも「来年は診療報酬引き上げが噂されるが、実際の賃上げや労働条件改善は各組織の奮闘にかかっています。共に団結して乗り切りましょう」と呼びかけました。

2025年度は「生活と医療と平和を守る」のスローガンを胸に、政策提起と社会発信を一体化したキャラバン行動で訴えを強めていきます。引き続き全厚労に結集して危機を乗り越えましょう。

（書記長 大栗 陽）

闘し各種手当や労働条件改善に大きな前進がみられました。発言でも皆さん盛んに訴えがありましたがコロナ危機以降の患者数は回復しつつも材料費や水光熱費の高騰による収益悪化が顕著にでているため、会として労働者の賃上げに踏み切れない実情があります。やはり、次の診療報酬改定で病院の収益を改善しない限り、医療従事者の賃上げは困難です。



5月の第7回拡大中執で全厚労シンボルマーク募集作品の選考会を行いました。34件の応募作品の中から、Googleフォームで投票を行った結果、15票獲得の山厚労（作業療法士）の作品が選ばれました。交流会で授賞式を行い、岩本委員長から3万円分のクオカードが授与されました。

シンボルマーク授賞式ありました（写真左は代理）



基幹病院としての継続・職場環境改善に尽力

広厚労吉田支部との対話集会で市長発言

8月21日、広厚労吉田支部は「地域医療・地域の基幹病院として住民に最良の医療提供を続けるために当院で働く職員（労組員）が市長に現状を伝え、自治体と協働できることが何か対話を通して考えたい」をテーマとした安芸高田市の対話集会に参加し、市長と福祉保健部部長、健康こども未来課長など5名を迎え、意見交換しました。

対話集会はまちづくりに関する市民の意見や提案を聴き、今後の市政運営に活かすことを目的としたもので、現市長が就任してからの試みです。

集会のことは市の広報誌で知り、職場委員会の時間を活用してみようと応募。内容は市の広報に掲載されるので市民へのアピールの機会にもなります。これまで市長とは四役で面談を重ね、看護師不足や施設老朽化などを伝えていますが、実際に現場を知ってもらいたいと常々思っていました。

当日の施設見学は叶いませんでしたが、役員が院内の状況（紙カルテ、手回しハンドルベッド、6人部屋、4年前に水害被害があった外来の当時と現在、全体的に老朽化）をスライドで説明。市の役員の方々は初めて知る内容もあった様子で真剣に聞いていました。その他、職場委員が持ち寄った質問（地域活性化、ホテルやコーヒーチェーン店の誘致など）に直接回答をいただき、市としての考えを確認することができました。

市長は「地域の基幹病院として必要であり、今後も残していかななくてはならない」と発言され、実際に市として安芸高田市で働く看護師対象の5年間奨学金返済制度や夜間救急への補助金増額など地域医療存続に向け、尽力されています。一方で財政難や高齢化などの課題で、支援にも限界があることも話されました。

そのような厳しい中でも、私たちは地域の皆さんに安全・安心な医療看護を提供したいと、安心して働き続ける職場環境が必要だと訴えました。看護師不足、建物やシステム老朽化など課題が山積みですが、動くことで一つでも改善することを願います。

（広厚労吉田支部 徳本記）



現場実態を伝え、市の姿勢も確認できた安芸高田市と広厚労吉田支部の対話集会の様子